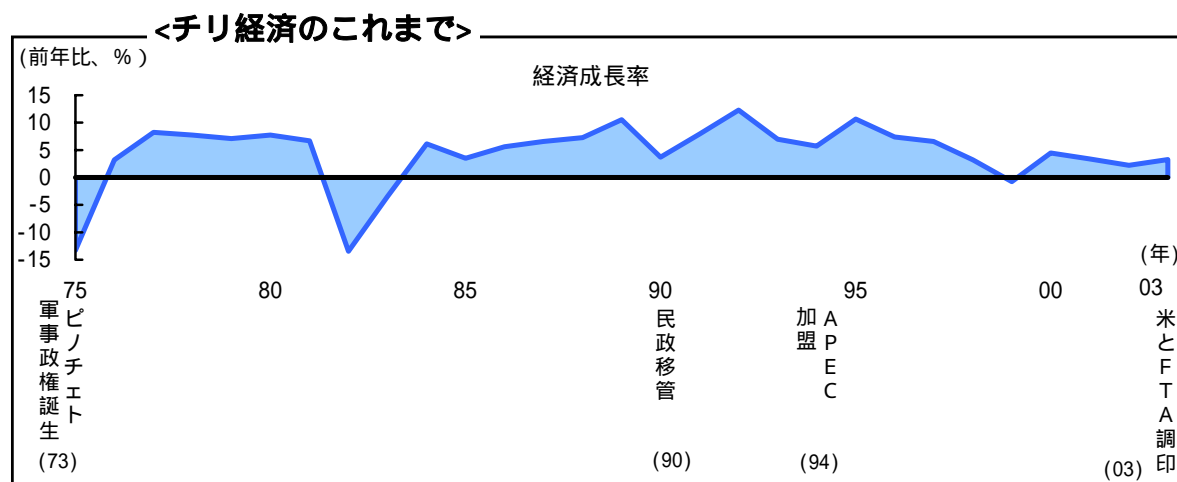


<2003年>

人口	1,512 万人 (日本の約1/8)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	4,767 ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 5.5 % 2次産業 38.0 % 3次産業 56.5 %	通貨	ペソ 1米ドル=691ペソ
		面積	75.7万km ² (日本の約2倍)



チリの主要経済指標

		93～02年	2003年	2004年		2005年		民間機関
				中央銀行	I M F	中央政府	I M F	
実質GDP	前年比%	4.7	3.3	5.0	4.6	5.0	5.5	実質GDP
鉱工業生産	同上	2.4	2.7	-	-	-	-	2004年
消費者物価	同上	6.4	2.8	2.7	1.3	3.0	0.9	平均 5.0
失業率	%	7.7	8.5	-	-	-	-	最大 5.1
経常収支	億米ドル		5.9	-	1.7	-	5.9	最小 4.9
(GDP比)	%		(0.8)	(2.2)	(0.2)	-	(0.6)	2005年
財政収支	億米ドル		6.0	-	-	-	-	平均 4.7
(GDP比、年度)	%		(0.8)	-	-	-	-	最大 5.0
政府債務残高	億米ドル		-	-	-	-	-	最小 4.5
(GDP比、年度末)	%		-	-	-	-	-	(5社)

(備考) チリ中央銀行、チリ国家統計局、チリ大蔵省、I M F “International Financial Statistics”。見通しの中央銀行 “Economic Expectation Survey” (2004年9月)、I M Fは“World Economic Outlook” (2004年9月) による。

<2004～2005年の経済>

2004年前半の経済成長率は、前年同期比4.9%となるなど安定した経済成長を維持している。これは、アジアを中心とする旺盛な銅需要に支えられ輸出が増加したことや、低インフレ率に伴う金融緩和策の継続を背景に国内需要が堅調に推移したことなどによる。2004年全体では、5%程度の経済成長が見込まれており、春時点(4.5%)より上方修正されている。

2005年は、設備投資を中心に引き続き安定した成長が続くという見通しから、5～5.5%程度の経済成長が見込まれている(中央銀行見通し5.0%、I M F見通し5.5%、民間機関5社平均見通し4.7%)。下方リスクとして、失業率が再び上昇傾向を強めていることから、この影響が経済全体へ波及することが懸念されている。